

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査・学校通信教育調査]

1 幼稚園

(1) 幼稚園数

- ・ 幼稚園数は 448 園（本園 443 園、分園 5 園）で、前年度に比べ 56 園減少した。
- ・ 設置者別にみると、国立 1 園、公立 231 園、私立 216 園となっている。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 2,419 学級で、前年度に比べ 326 学級減少した。
- ・ 1 学級当たりの園児数は 21.7 人で、前年度に比べ 0.2 人増加した。

(3) 園児数

- ・ 園児数は 52,466 人（男 26,684 人、女 26,082 人）で、前年度に比べ 6,537 人減少した。
- ・ 年齢別にみると、3 歳児が 16,800 人、4 歳児が 17,629 人、5 歳児が 18,037 人となっている。
- ・ 設置者別にみると、国立 102 人、公立 17,557 人、私立 34,807 人となっている。
- ・ 定員充足率は、公立幼稚園で 53.6%（前年度に比べ 0.4 ポイント上昇）、私立幼稚園で 71.5%（同 0.2 ポイント低下）となっている。

図1 園数、園児数、教員数の推移

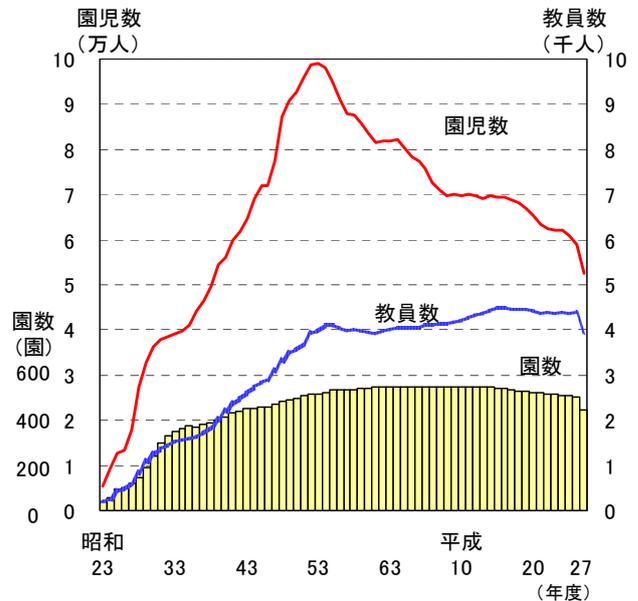
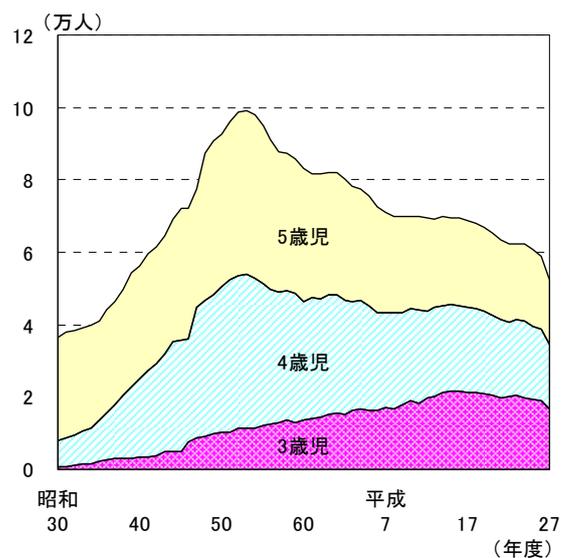


図2 園児数の推移(年齢別)



(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は3,918人（男228人、女3,690人）で、前年度に比べ467人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は94.2%で、前年度と同率であった。
- ・ 本務教員1人当たりの園児数は13.4人（全国13.8人）で、前年度に比べ0.1人減少した。設置者別にみると、公立11.8人、私立14.3人となっている。

図3 本務教員1人当たりの園児数の推移



2 幼保連携型認定こども園

(1) 幼保連携型認定こども園数

- ・ 幼保連携型認定こども園数は 110 園（本園 110 園、分園 0 園）となっている。
- ・ 設置者別にみると、公立 68 園、私立 42 園となっている。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 560 学級となっている。
- ・ 1 学級当たりの園児数は 24.8 人となっている。

(3) 園児数

- ・ 園児数は 13,893 人（男 7,288 人、女 6,605 人）となっている。
- ・ 年齢別にみると、0 歳児 399 人、1 歳児 1,264 人、2 歳児 1,445 人、3 歳児 3,602 人、4 歳児 3,578 人、5 歳児 3,605 人となっている。
- ・ 在園者の満 3 歳以上の園児のうち教育標準時間認定の園児は 4,745 人、保育認定の園児は 6,040 人となっている。

表 1 在園者数（3～5 歳・認定区分別）

	在園者数			
	計	3歳	4歳	5歳
計	10,785	3,602	3,578	3,605
教育標準時間認定	4,745	1,527	1,613	1,605
満 3 歳以上・保育認定	6,040	2,075	1,965	2,000

- ・ 設置者別にみると、公立 6,990 人、私立 6,903 人となっている。
- ・ 定員充足率は、公立幼保連携型認定こども園が 86.1%、私立幼保連携型認定こども園が 89.2% となっている。

(4) 教育・保育職員数

- ・ 教育・保育職員数（本務者）は 1,593 人（男 80 人、女 1,513 人）となっている。
- ・ 女性教育・保育職員の占める割合は 95.0%となっている。
- ・ 本務教育・保育職員 1 人当たりの園児数は 8.7 人（全国 7.5 人）となっている。設置者別にみると、公立 9.3 人、私立 8.2 人となっている。

3 小学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は514校（本校509校、分校5校）で、前年度に比べ2校減少した。設置者別にみると、国立2校、公立508校、私立4校となっている。
- ・ 特別支援学級（旧75条学級）を置く学校数は299校で、前年度に比べ7校増加した。

(2) 学級数

- ・ 学級数は7,577学級で、前年度に比べ43学級減少した。
- ・ 特別支援学級数は637学級で、前年度に比べ36学級増加し、全学級数に占める割合は8.4%となっている。複式学級は87学級で、前年度に比べ4学級減少した。
- ・ 1学級当たりの児童数は26.1人（全国24.0人）で、前年度に比べ0.1人減少した。

(3) 児童数

- ・ 児童数は197,424人（男101,026人、女96,398人）で、前年度に比べ2,523人減少した。
- ・ 設置者別にみると、国立1,040人、公立195,122人、私立1,262人となっている。
- ・ 第1学年の児童数に対する幼稚園修了者の比率は62.9%（全国53.5%）で、前年度に比べ0.8ポイント低下した。

図4 学校数、児童数、教員数の推移

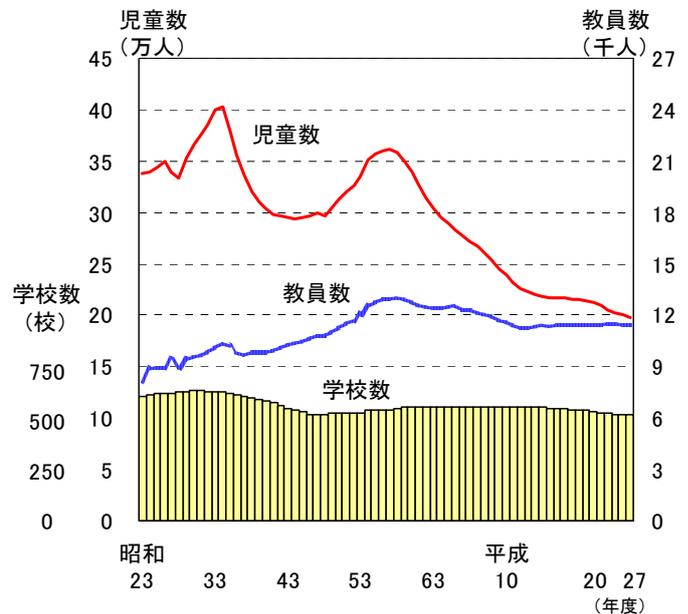
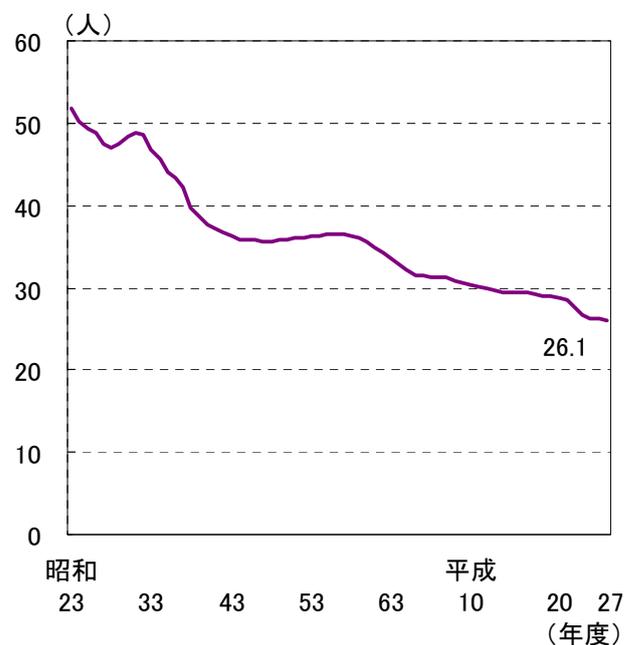


図5 1学級当たりの児童数の推移



- 平成 26 年度間の帰国児童数は 272 人で、前年度に比べ 27 人増加した。

- 外国人児童数は 2,619 人で、前年度に比べ 92 人増加した。全児童に占める割合は 1.3% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 11,409 人（男 4,637 人、女 6,772 人）で、前年度に比べ 48 人減少した。

- 女性教員の占める割合は 59.4%（全国 62.3%）で、前年度に比べ 0.1 ポイント上昇した。

(5) 長期欠席者数

- 平成 26 年度間の長期欠席者数は 1,454 人で、前年度に比べ 8 人増加した。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 67.1%、次いで「病気」が 22.4% となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 5.7 ポイント上昇し、「病気」の割合は 2.0 ポイント低下した。

- 児童 1,000 人当たりの長期欠席者数は 7.3 人（全国 8.8 人）で、前年度に比べ 0.2 人増加した。そのうち「不登校」によるものは 4.9 人となっている。

図6 帰国児童、外国人児童数の推移

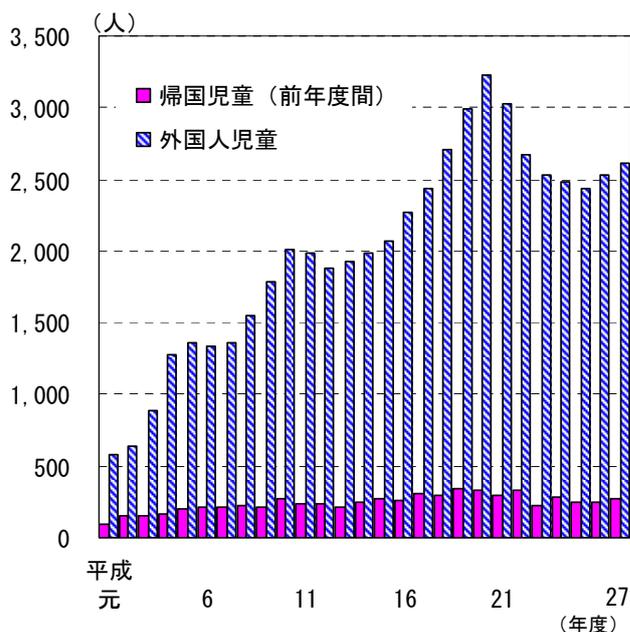
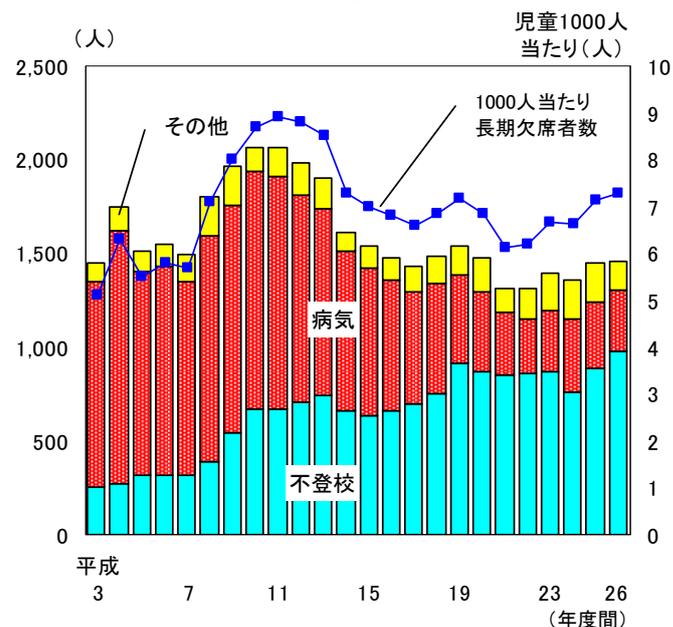


図7 長期欠席者数の推移



4 中学校

(1) 学校数

- 学校数は 295 校（本校 294 校、分校 1 校）で、前年度と同数であった。設置者別にみると、国立 3 校、公立 264 校、私立 28 校となっている。
- 特別支援学級を置く学校は 169 校で、前年度に比べ 4 校増加した。

(2) 学級数

- 学級数は 3,680 学級で、前年度に比べ 28 学級減少した。
- 特別支援学級数は 349 学級で、前年度に比べ 11 学級増加した。全学級数に占める割合は 9.5%となっている。
- 1 学級当たりの生徒数は 28.5 人（全国 28.2 人）で、前年度と同数であった。

(3) 生徒数

- 生徒数は 104,951 人（男 54,081 人、女 50,870 人）で、前年度に比べ 857 人減少した。
- 設置者別にみると、国立 1,196 人、公立 98,687 人、私立 5,068 人となっている。

図8 学校数、生徒数、教員数の推移

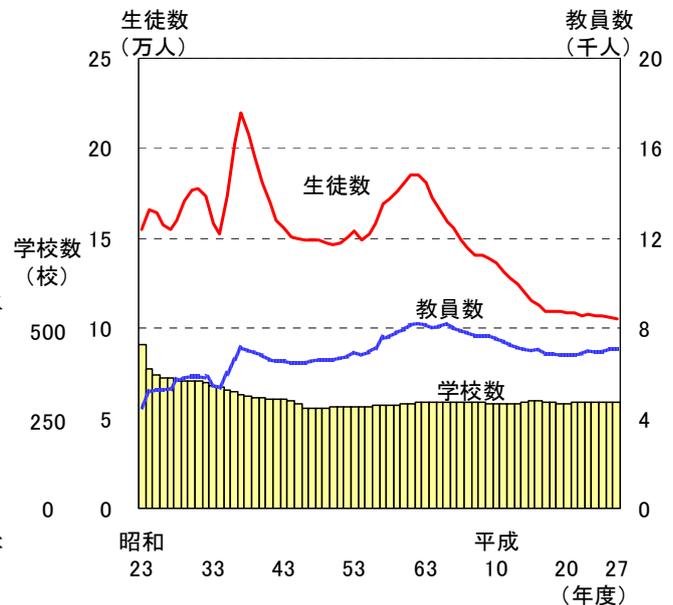
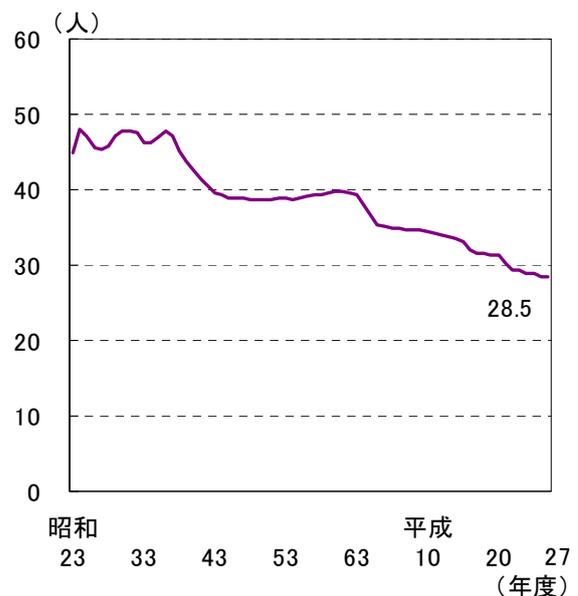


図9 1 学級当たりの生徒数の推移



- 平成 26 年度間の帰国生徒は 126 人で、前年度に比べ 8 人増加した。

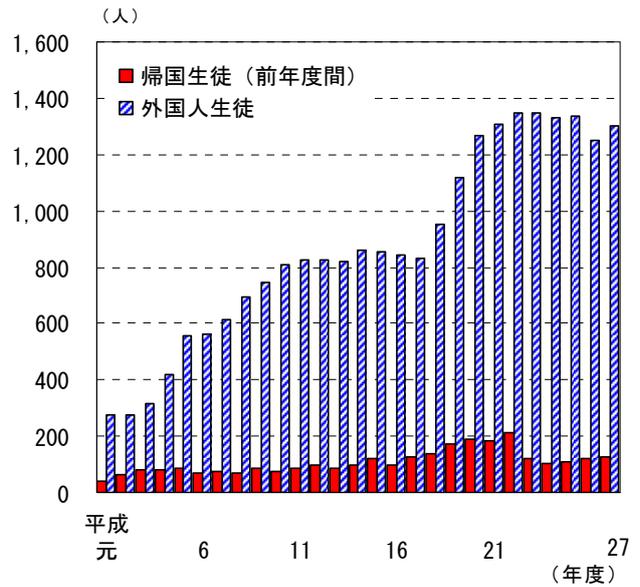
- 外国人生徒数は 1,302 人で、前年度に比べ 50 人増加し、全生徒数に占める割合は 1.2% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 7,049 人（男 4,393 人、女 2,656 人）で、前年度に比べ 11 人増加した。

- 女性教員の占める割合は 37.7%（全国 42.8%）で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇した。

図10 帰国生徒、外国人生徒数の推移



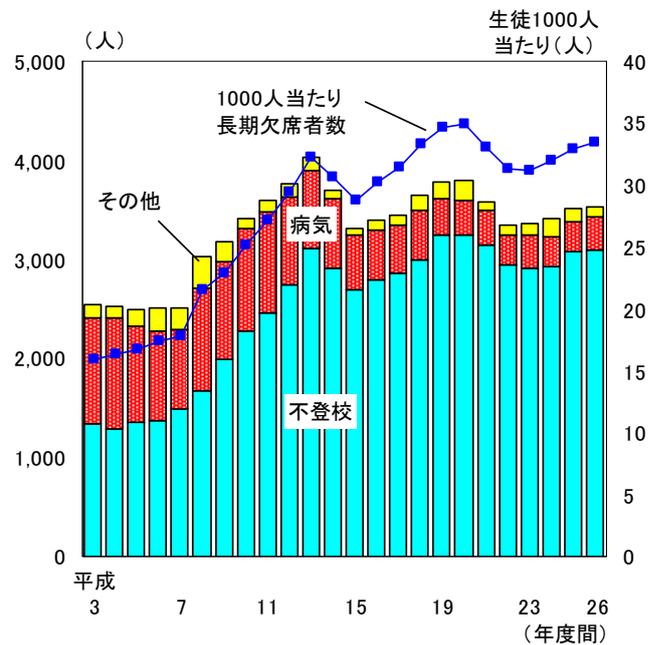
(5) 長期欠席者数

- 平成 26 年度間の長期欠席者数は 3,534 人で、前年度に比べ 15 人増加した。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 87.7%、次いで「病気」が 9.5%となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 0.4 ポイント、「病気」の割合は 0.6 ポイント上昇した。

- 生徒 1,000 人当たりの長期欠席者数は 33.4 人（全国 36.3 人）で、前年度に比べ 0.4 人増加した。そのうち「不登校」によるものは 29.3 人となっている。

図11 長期欠席者数の推移



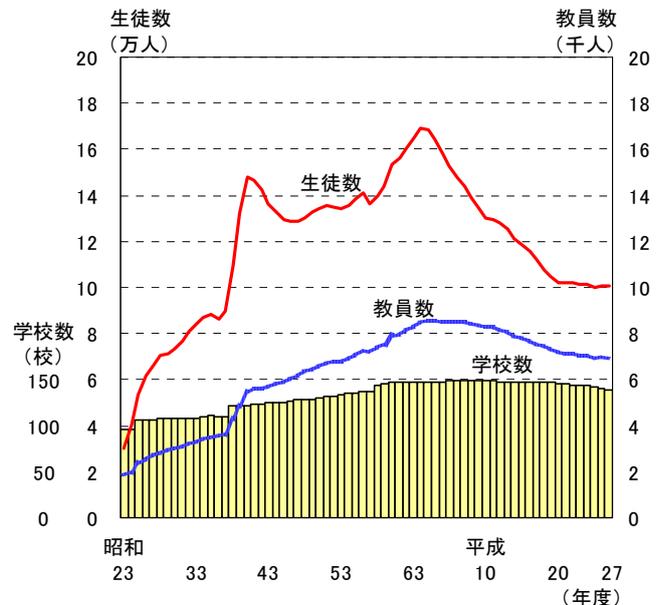
5 高等学校

(全日制・定時制)

(1) 学校数

- ・ 学校数は138校（本校135校、分校3校）で、前年度に比べ2校減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立95校（本校92校、分校3校）で、前年度に比べ2校減少し、私立43校（本校のみ）で、前年度と同数であった。
- ・ 課程別にみると、全日制課程のみを置く学校が117校、定時制課程のみを置く学校が2校、全日制・定時制の両課程を併置している学校が19校となっている。

図12 学校数、生徒数、教員数の推移



(2) 小学科数

- ・ 小学科数（本科）は、全日制266学科、定時制21学科、計287学科となっている。
- ・ 学科別にみると、普通科が122学科で最も多く、次いで工業科57学科、商業科30学科、農業科22学科の順となっている。

* 小学科数は生徒が在籍している学科の数である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は100,536人（男51,254人、女49,282人）で、前年度に比べ283人減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立68,573人、私立31,963人となっている。

表2 学科別小学科数・生徒数(本科)

区分	小学科数	生徒数
普通科	122	68,124
農業科	22	2,371
工業科	57	7,596
商業科	30	8,615
水産科	4	555
家庭科	4	452
福祉科	6	725
総合学科	10	5,767
その他	32	6,305
計	287	100,510

- 全生徒数のうち本科の生徒数は 100,510 人で前年度に比べ 284 人減少した。

また、専攻科の生徒数は 26 人で、前年度に比べ 1 人増加した。

- 本科の生徒数のうち、全日制課程の生徒数は 97,384 人で、前年度に比べ 203 人減少し、全日制課程の生徒数の占める割合は 96.9%となっている。

- 本科の生徒数のうち、定時制課程の生徒数は 3,126 人で、前年度に比べ 81 人減少した。

- 本科の生徒数を学科別にみると、普通科が 68,124 人（全体の 67.8%）で最も多く、次いで商業科 8,615 人（同 8.6%）、工業科 7,596 人（同 7.6%）、総合学科 5,767 人（同 5.7%）の順となっている。

- 平成 26 年度間の帰国生徒数（本科）は 58 人（公立 33 人、私立 25 人）で、前年度に比べ 23 人増加した。

- 外国人生徒数は、950 人（公立 721 人、私立 229 人）で、前年度に比べ 15 人増加した。

(4) 入学者数

- 本科の入学者数は 33,803 人（全日制課程 32,879 人、定時制課程 924 人）で、前年度に比べ 627 人減少した。

- 入学志願者に対する入学者の割合は、公立 92.0%、私立 34.3%となっている。

- 入学定員に対する入学者の割合は、公立 97.5%、私立 90.6%となっている。

図13 学科別生徒数(本科)

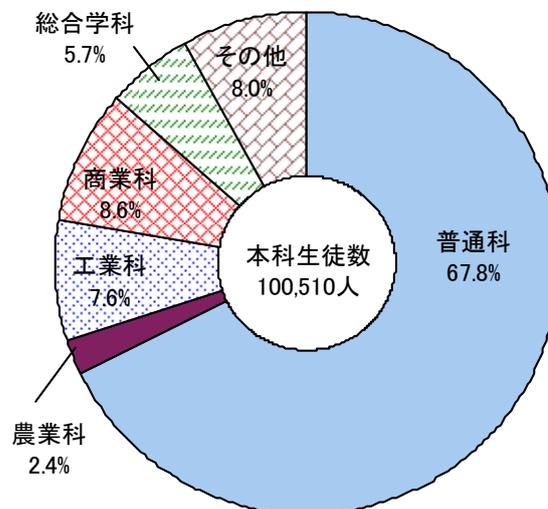
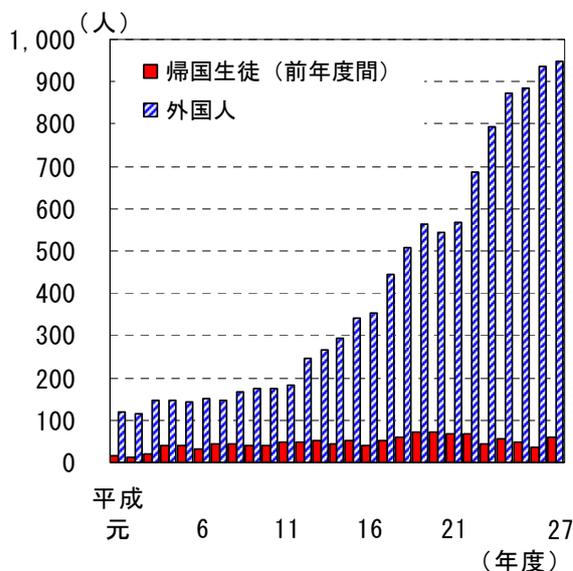


図14 帰国生徒、外国人生徒数の推移



(5) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 6,941 人（男 4,959 人、女 1,982 人）で、前年度に比べ 14 人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は 28.6%（全国 31.3%）で、前年度に比べ 0.6 ポイント上昇した。
- ・ 本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.5 人（全国 14.1 人）で、前年度と同数であった。

図15 本務教員 1 人当たりの生徒数の推移



(通信制)

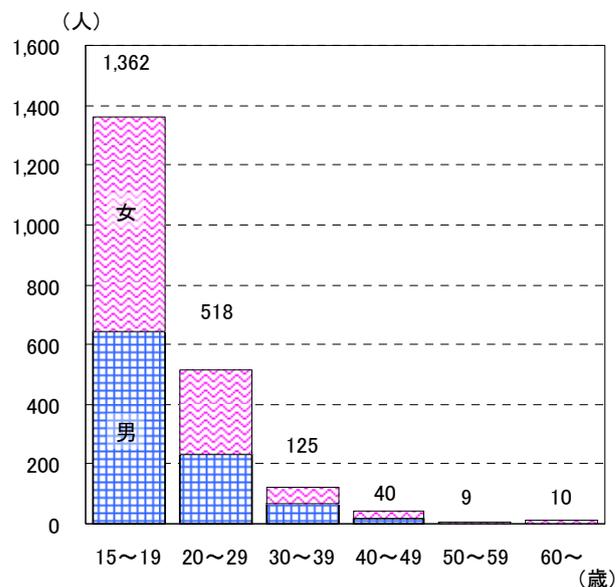
(1) 学校数

- ・ 学校数は 2 校（うち定時制と併置 1 校）で、前年度と同数であった。

(2) 生徒数

- ・ 生徒数は 2,064 人（男 966 人、女 1,098 人）で、前年度に比べ 30 人減少した。
- ・ 年齢別にみると、10 歳代が全体の 66.0%で最も多く、20 歳代が 25.1%、30 歳代以上が 8.9%となっている。

図16 年齢別生徒数



(3) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 61 人で、前年度に比べ 1 人増加した。

6 特別支援学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 39 校で、前年度に比べ 2 校増加した。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 1,189 学級で、前年度に比べ 49 学級増加した。

(3) 在学者数

- ・ 在学者数は 4,868 人で、前年度に比べ 116 人増加した。

【内訳】

・ 幼稚部	41 人
・ 小学部	1,768 人
・ 中学部	1,055 人
・ 高等部	2,004 人

(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 2,658 人で、前年度に比べ 192 人増加した。

図17 学校数、在学者数、教員数の推移

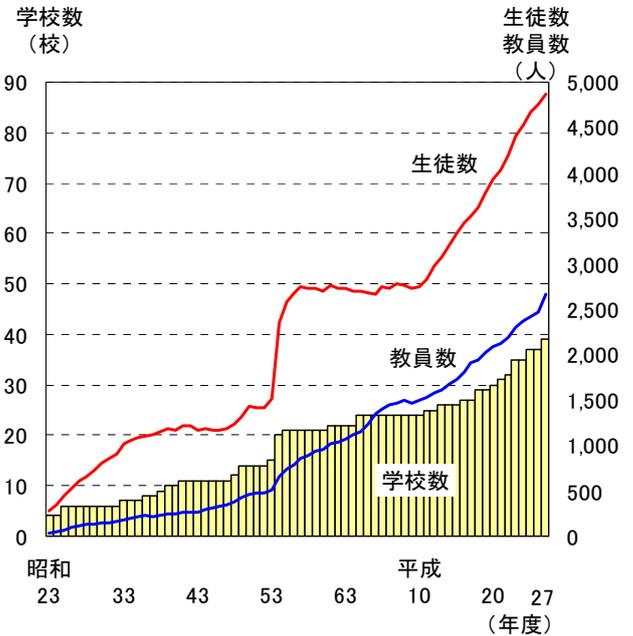
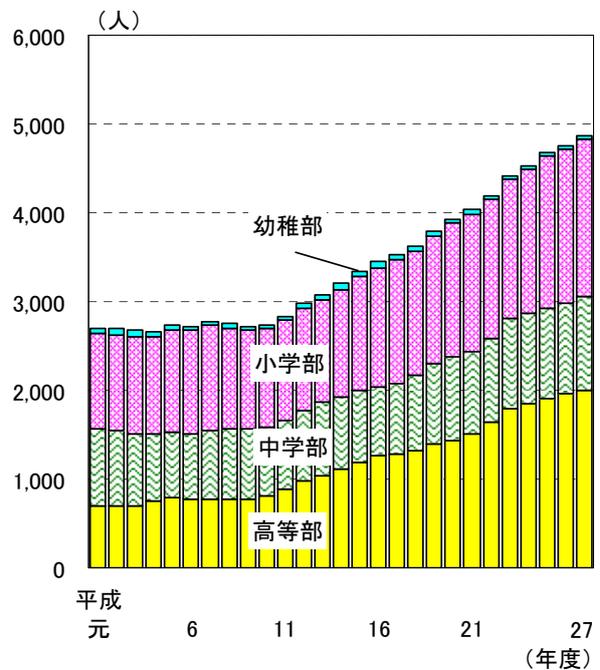


図18 在学者数の推移



7 専修学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 96 校で、前年度に比べ 1 校減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立 10 校、私立 86 校となっている。

(2) 学科数

- ・ 学科数は、高等課程 18 学科、専門課程 203 学科、一般課程 9 学科、計 230 学科となっている。
- ・ 分野別にみると、医療関係が 47 学科で最も多く、次いで、文化・教養関係 45 学科、商業実務関係 41 学科、工業関係 33 学科、衛生関係 28 学科、服飾・家政関係 17 学科の順となっている。
- ・ 修業年限別にみると、1 年～1 年 11 か月が 31 学科、2 年～2 年 11 か月が 109 学科、3 年以上が 90 学科となっている。
- ・ 昼夜別にみると、昼の課程が 222 学科、夜及び昼夜の課程が 8 学科となっている。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は 13,853 人（高等課程 1,341 人、専門課程 11,989 人、一般課程 523 人）で、前年度に比べ 181 人減少した。
- ・ 全生徒数のうち、女子は 7,761 人で全体の 56.0%を占めている。

図19 学校数、生徒数、教員数の推移

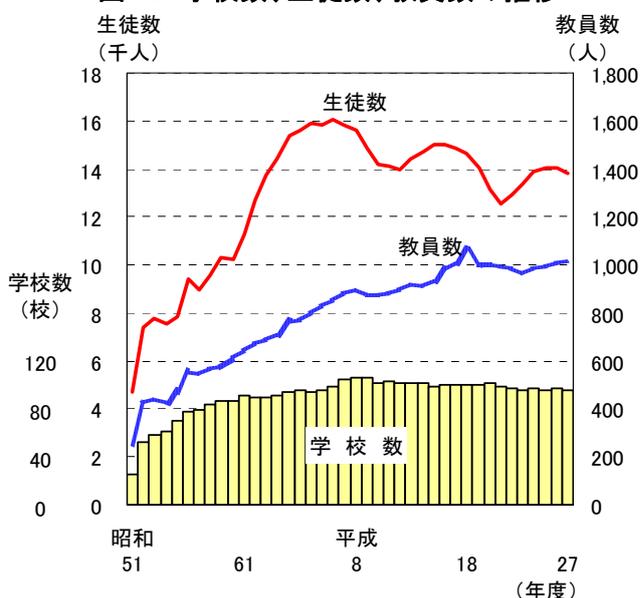
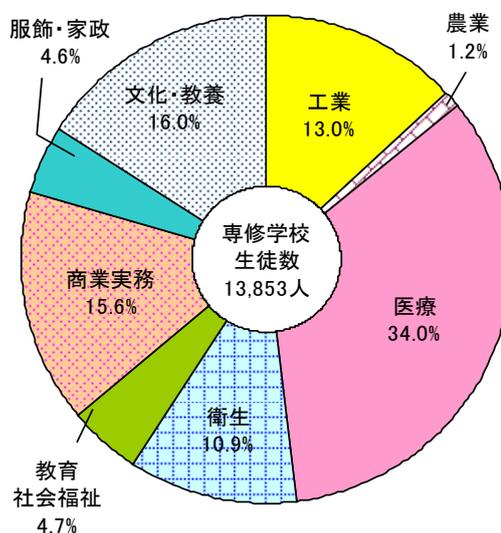


表3 分野別学科数・生徒数

区 分	学科数	生徒数
工 業	33	1,796
農 業	6	161
医 療	47	4,715
衛 生	28	1,512
教育・社会福祉	13	653
商 業 実 務	41	2,165
服 飾 ・ 家 政	17	633
文 化 ・ 教 養	45	2,218
計	230	13,853

図20 学科別生徒数割合



- ・ 学科別にみると、医療関係が最も多く 4,715 人で、次いで文化・教養関係 2,218 人、商業実務 2,165 人、工業関係 1,796 人、衛生関係 1,512 人の順となっている。

(4) 入学者数

- ・ 本年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの入学者数は 6,219 人（高等課程 494 人、専門課程 5,222 人、一般課程 503 人）で、前年度に比べ 66 人減少した。
- ・ 春期の入学定員に対する入学者の割合は、65.6%となっている。

(5) 卒業生数

- ・ 前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの卒業生数は 5,643 人（高等課程 455 人、専門課程 4,572 人、一般課程 616 人）で、前年度間に比べ 167 人増加した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者 1,015 人（男 499 人、女 516 人）、兼務者 2,762 人（男 1,618 人、女 1,144 人）で、前年度に比べ本務者は 17 人増加し、兼務者は 48 人減少した。

図21 学科別生徒数の推移

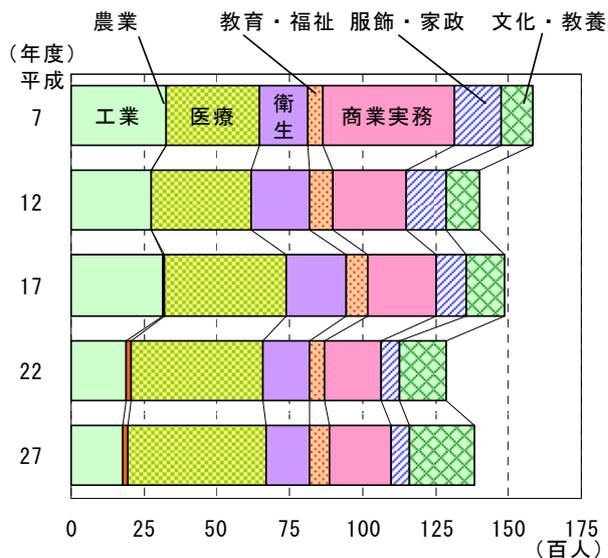


図22 春期入学者の定員充足率の推移



8 各種学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 29 校（私立のみ）で、前年度に比べ 5 校減少した。

(2) 課程数

- ・ 課程数は、衛生関係 1 課程、商業実務関係 11 課程、家政関係 5 課程、文化・教養関係 6 課程、その他 15 課程、計 38 課程である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は 1,546 人で、前年度に比べ 110 人減少した。最も多い学科は、商業実務関係の 421 人（全体の 27.2%）である。

(4) 入学者数

- ・ 本年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの入学者は 338 人（男 178 人、女 160 人）で、前年度に比べ 19 人増加した。

(5) 卒業者数

- ・ 前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの卒業者は 453 人（男 251 人、女 202 人）で、前年度間に比べ 7 人増加した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者 102 人（男 35 人、女 67 人）、兼務者 83 人（男 18 人、女 65 人）で、前年度に比べ本務者は 2 人減少し、兼務者は 3 人増加した。

図23 学校数、生徒数、教員数の推移

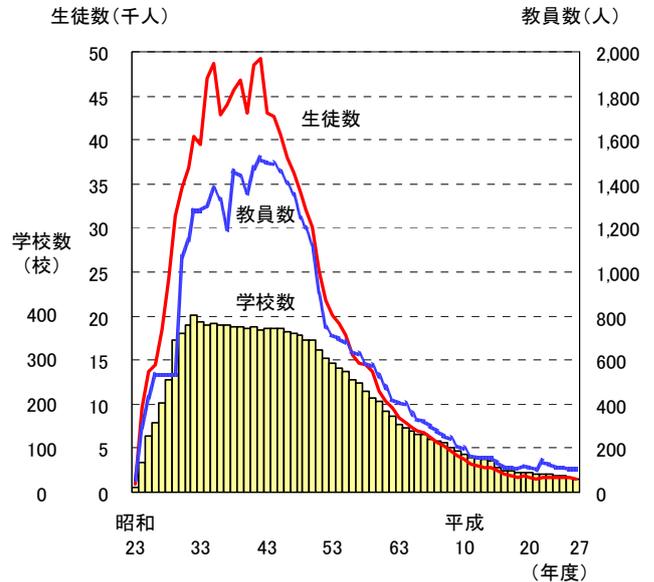
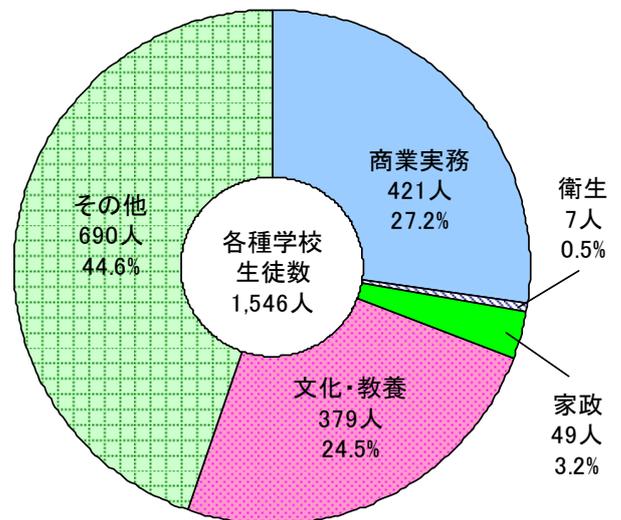


図24 学科別生徒数



[卒業後の状況調査]

1 中学校卒業後の状況

(1) 進路別卒業生数

- ・平成27年3月の中学校卒業生数は35,474人（男18,133人、女17,341人）で、前年に比べ515人減少した。
- ・高等学校等進学者は34,876人（男17,769人、女17,107人）で、前年に比べ463人減少した。
- ・専修学校及び各種学校への進学・入学者は83人（男39人、女44人）で、前年に比べ13人減少した。
- ・公共職業能力開発施設等入学者は12人（男9人、女3人）で、前年に比べ8人減少した。
- ・就職者数は、193人（男139人、女54人）で、前年に比べ4人減少した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者25人（男18人、女7人）を含んでいる。

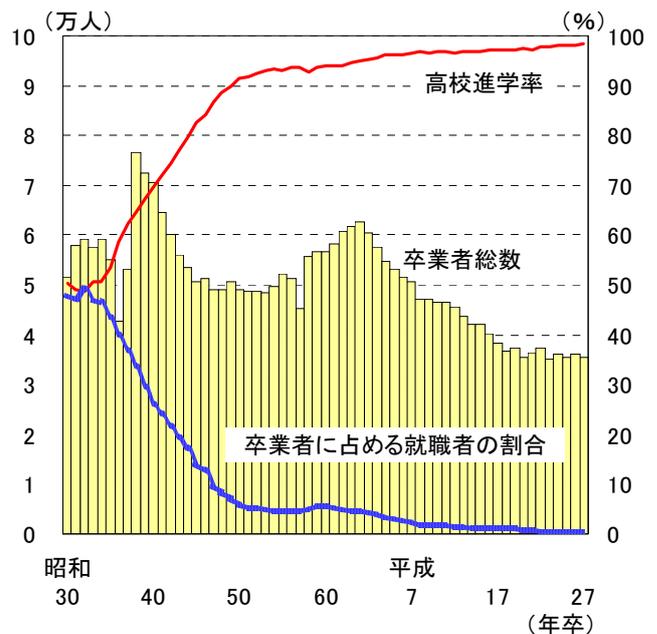
(2) 高等学校等進学率

- ・高等学校等進学率は98.3%（全国98.5%）で、前年に比べ0.1ポイント上昇した。男子の進学率は98.0%、女子は98.7%で、前年に比べ男子は0.2ポイント上昇し、女子は同率であった。

(3) 卒業生に占める就職者の割合

- ・卒業生に占める就職者の割合は0.5%（全国0.4%）で、前年と同率であった。

図25 中学校卒業生数、高等学校等進学率及び卒業生に占める就職者の割合の推移



2 高等学校卒業後の状況

(全日制・定時制)

(1) 進路別卒業生数

- 平成 27 年 3 月の高等学校卒業生数（全日制課程・定時制課程）は 32,404 人（男 16,575 人、女 15,829 人）で、前年に比べ 678 人増加した。
- 大学等進学者は 17,450 人（男 8,894 人、女 8,556 人）で、前年に比べ 612 人増加した。
- 専修学校（専門課程）進学者は 5,296 人（男 2,020 人、女 3,276 人）で、前年に比べ 154 人減少した。
- 専修学校（一般課程）等入学者は 979 人（男 583 人、女 396 人）で、前年に比べ 39 人減少した。
- 公共職業能力開発施設等入学者は 160 人（男 146 人、女 14 人）で、前年に比べ 19 人増加した。
- 就職者数は、7,140 人（男 4,161 人、女 2,979 人）で、前年に比べ 319 人増加した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者 6 人（男 4 人、女 2 人）を含んでいる。
- 就職者数のうち、正規の職員等は、7,082 人（男 4,137 人、女 2,945 人）、正規の職員等でない者は 58 人（男 24 人、女 34 人）であった。
- 現役高校生の大学等進学率は 53.9%（全国 54.5%）で、前年に比べ 0.8 ポイント上昇した。男子の進学率は 53.7%（全国 52.1%）、

図26 高等学校卒業生数、大学等進学率及び卒業生に占める就職者の割合の推移

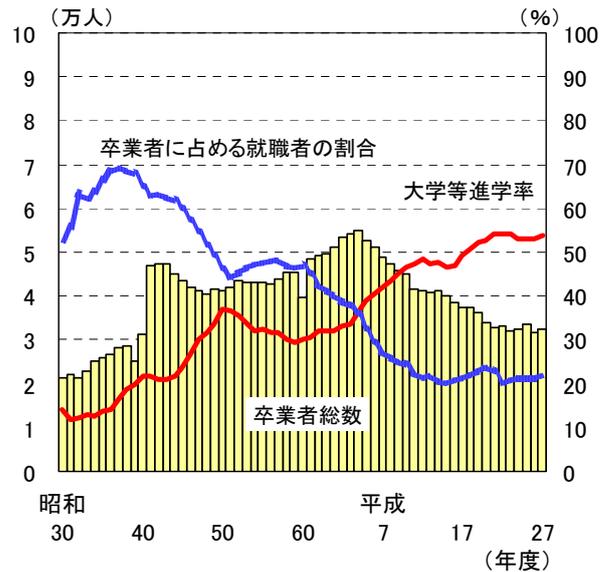


図27 高等学校卒業生の進路別内訳

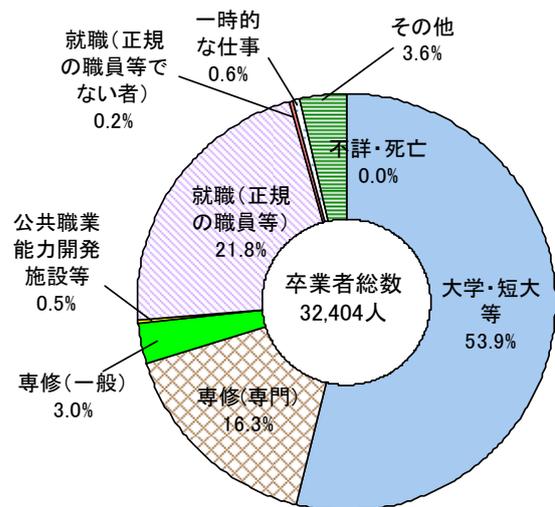
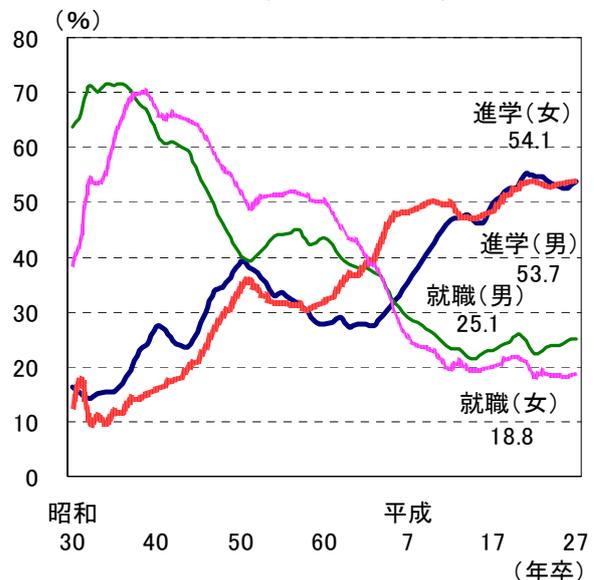


図28 男女別大学等進学率、卒業生に占める就職者の割合の推移



女子は54.1%（全国56.9%）で、前年に比べ男子は1.1ポイント、女子は0.5ポイント上昇した。

(2) 大学等進学者及び大学等進学率

- 大学等進学者のうち、大学学部及び短期大学本科への進学者数は17,421人で、前年に比べ608人増加した。
- 大学学部への進学者数は15,922人（男8,783人、女7,139人）で、前年に比べ608人増加し、全卒業者に占める割合は49.1%となっている。
- 短期大学本科への進学者数は1,499人（男94人、女1,405人）で、前年と同数であった。全卒業者に占める割合は4.6%となっている。
- 男子の大学学部への進学率は53.0%で、前年に比べ1.1ポイント上昇した。一方、短期大学本科への進学率は0.6%で、前年と同率であった。
- 女子の大学学部への進学率は45.1%で、前年に比べ0.5ポイント上昇した。一方、短期大学本科への進学率は8.9%で、前年に比べ0.1ポイント低下した。

図29 男女別大学、短大進学率の推移

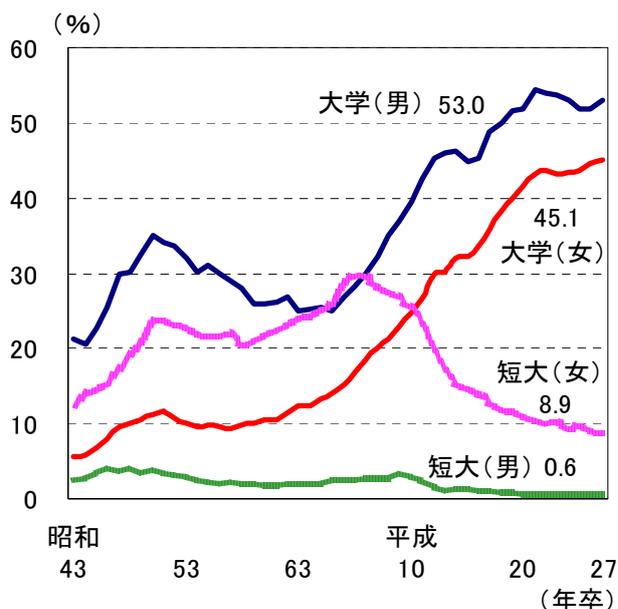
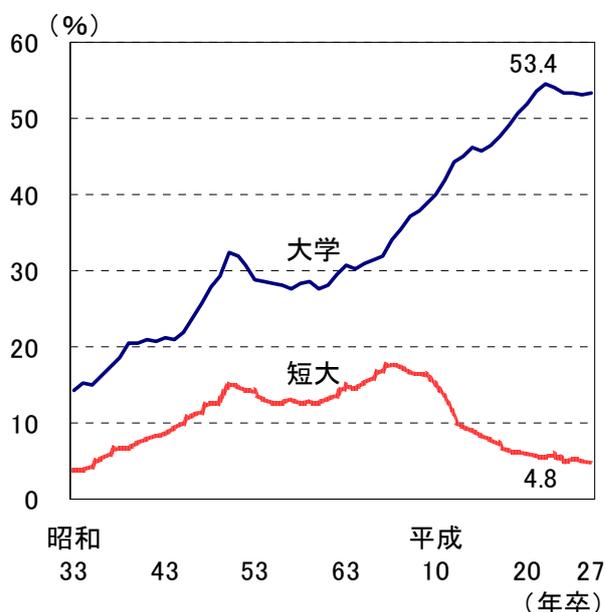


図30 大学学部、短大本科への志願率の推移



(3) 大学等への志願者数及び志願率

- 大学学部及び短期大学本科への志願者数（過年卒業者を除く）は18,856人（男9,845人、女9,011人）で、前年に比べ456人増加した。
- 大学学部への志願者数は17,313人（男9,737人、女7,576人）で、前年に比べ452人増加した。

- ・ 短期大学本科への志願者数は1,543人（男108人、女1,435人）で、前年に比べ4人増加した。
- ・ 本年3月卒業者の大学学部及び短期大学本科への志願率は、それぞれ53.4%、4.8%で、前年に比べ、大学は0.3ポイント上昇し、短期大学は0.1ポイント低下した。

(4) 就職者及び卒業者に占める就職者の割合

- ・ 卒業者に占める就職者の割合は22.0%（男25.1%、女18.8%、全国17.8%）で、前年に比べ0.5ポイント上昇した。
- ・ 就職者数を産業別にみると、製造業が3,431人（全体の48.1%）で最も多く、次いで卸売業・小売業652人（同9.1%）、医療・福祉558人（同7.8%）、建設業434人（同6.1%）、生活関連サービス業367人（同5.1%）、運輸業・郵便業350人（同4.9%）の順となっている。

- ・ 職業別にみると、生産工程従事者が3,434人（全体の48.1%）で最も多く、次いでサービス職業従事者1,222人（同17.1%）、事務従事者761人（同10.7%）、販売従事者512人（同7.2%）の順となっている。

- ・ 就職者総数のうち、県外へ就職した者は597人（男413人、女184人）で就職者総数の8.4%（全国18.4%）を占め、前年に比べ1.8ポイント上昇した。

- ・ 県外就職者の都道府県別就職先は、東京都が206人、次いで愛知県187人、神奈川県86人の順になっている。

図31 産業別就職者の内訳

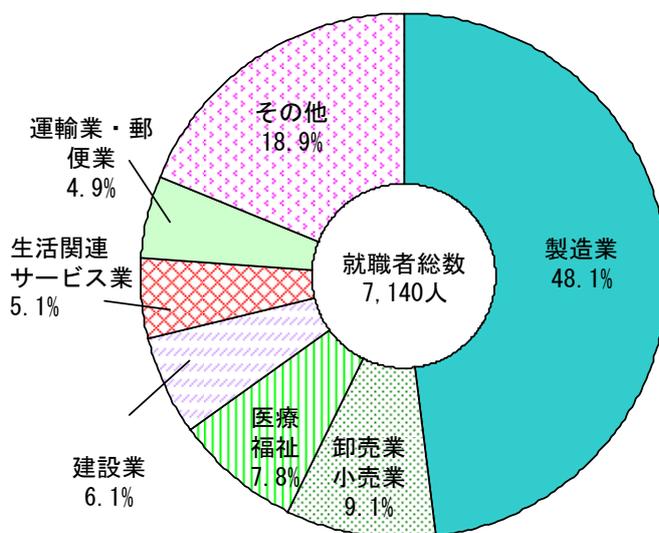
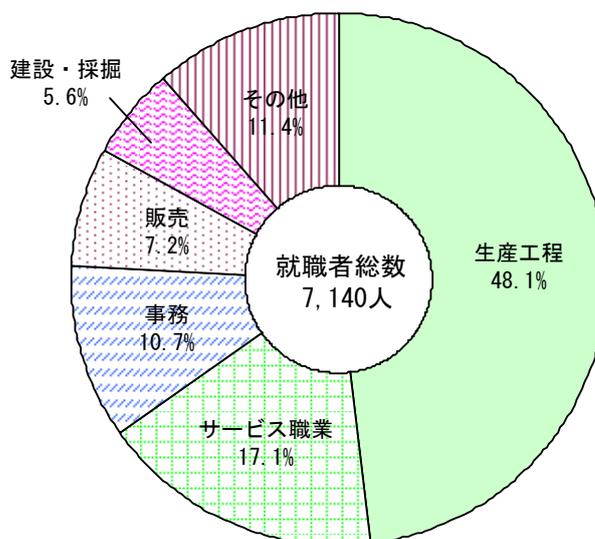


図32 職業別就職者の内訳



(通信制)

- ・ 平成 26 年度間の卒業生数は 343 人（男 153 人、女 190 人）で、前年度間に比べ 15 人増加した。
- ・ 進路別にみると、大学等進学者が 57 人（全体の 16.6%）、専修学校（専門課程）進学者 47 人（同 13.7%）、専修学校（一般課程）進学者 5 人（同 1.5%）、公共職業能力開発施設等進学者 2 人（同 0.6%）、就職者 68 人（同 19.8%）、その他 164 人（同 47.8%）となっている。

3 特別支援学校卒業後の状況

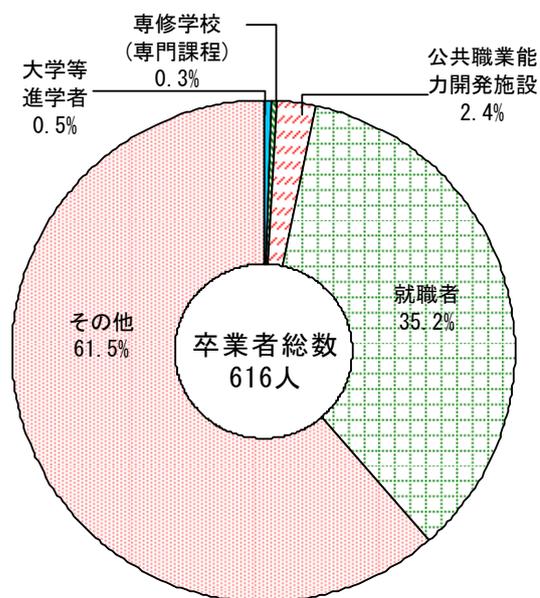
(1) 中学部の進路別卒業生数

- ・ 平成 27 年 3 月の中学部卒業生数は 338 人となっている。
- ・ 高等学校等進学者は 319 人で、高等学校等進学率は 94.4%となっている。

(2) 高等部の進路別卒業生数

- ・ 平成 27 年 3 月の高等部卒業生数は、616 人となっている。
- ・ 大学等進学者は 3 人で、大学等進学率は 0.5%となっている。
- ・ 就職者数は 217 人で、卒業生に占める就職者の割合は 35.2%となっている。

図33 高等部卒業生の進路別内訳



[不就学学齡児童生徒調査]

1 就学免除者

- ・ 就学免除者は、学齡児童（6～11歳）3人、学齡生徒（12～14歳）1人の計4人で、前年に比べ2人増加した。

2 就学猶予者

- ・ 就学猶予者は、学齡児童28人、学齡生徒6人の計34人で、前年に比べ6人増加した。

3 1年以上居住不明者

- ・ 1年以上居所不明者は、学齡児童0人、学齡生徒1人の計1人で、前年に比べ2人減少した。

4 学齡児童生徒死亡者

- ・ 平成26年度間に死亡した者は、学齡児童10人、学齡生徒6人の計16人で、前年度と同数であった。

[学校施設調査]

1 学校建物面積

- ・ 私立学校の建物面積は1,240,717 m²（設置者所有1,227,410 m²、借用13,307 m²）で、前年度に比べ33,411 m²増加した。
- ・ 私立学校の設置者所有建物を構造別にみると、木造2.5%、鉄筋コンクリート造61.2%、鉄骨造その他36.2%となっている。
- ・ 公立学校の建物面積は116,504 m²（設置者所有116,504 m²、借用0 m²）で、前年度に比べ68,944 m²増加した。
- ・ 公立学校の設置者所有建物を構造別にみると、木造5.5%、鉄筋コンクリート造が61.2%、鉄骨造その他33.4%となっている。

2 学校土地面積

- ・ 私立学校の土地面積は3,232,763 m²（設置者所有2,705,283 m²、借地527,480 m²）で、前年度に比べ107,702 m²増加した。
- ・ 公立学校の土地面積は、285,103 m²（設置者所有244,211 m²、借地40,892 m²）で、前年度に比べ162,527 m²増加した。